



生涯教育の進展にご努力を

石川県社会教育協会顧問 木 本 利 夫

石川県社会教育協会 70 周年、おめでとうございます。私も満 70 歳を迎えており、協会の 70 周年を自分の一生になぞらえて、感無量でございます。

私が協会とご縁を持たせて頂いたのは、青年団活動を通してであり、昭和 48 年度、49 年度、50 年度の 3 期、県青協の会長を務めさせていただいた折には、若輩者にも関わりませず、協会の諸先輩の皆様には多大のご指導とご協力を頂きました。その後、県公連の役員や宇ノ気町教育長として、皆さまと一緒に活動させて頂くことが多くなり、正に今日の私があるのは、協会の賜物と感謝に堪えません。

現在、石川県青年団 OB 会会長・石川県バレーボール協会会長・石川県日中友好協会会長等を務めさせていただいているのも、その延長の一貫であり、まさに「教育」のなかで育てられ生きてきたとの感を強くしています。

平成 6 年に、唐突に石川県議会議員に就任して場違いなところに来たのではないかと思います。皆様のご指導により県議会の教育厚生常任委員長、副議長、議長等を経験させて頂き、少しは教育の進展に寄与出来たのかなと思います。また、自民党県連教育推進会長・幹事長等を通して、教育行政の推進にも応援出来たと思っています。

協会が、『接点』を通して広く県民に啓蒙を促し、功労者表彰を通して隠れた指導者・功労者の顕彰を行い、各種の事業を通しての生涯教育の進展へのご努力にも、心より敬意を表します。新村会長を中心として、協会が益々ご発展されますことを心より祈念しています。